

日韓研究会

「都市・農村地域における『農』の可能性」

<共催> 日本建築学会農村計画委員会、韓国農村建築学会

農地・空地の有効活用、農福連携等の新たな潮流を踏まえ、韓国と日本から計4名にご登壇いただき都市・農村地域における農地の可能性について議論します。市街地や地域の生活空間・建築（施設）を豊かにする「農」（農地・作物・農作業）のあり方、日韓相互の最新事情や地域づくり・施設設計の現場からの話題提供をもとに両国研究者等が情報共有を行います。日韓研究会は、日本建築学会農村計画委員会と韓国農村建築学会が共同かつ両国持ち回りにより、すでに20回以上の実績を有しています。今回、コロナ禍を経て6年ぶりの日本（東京）開催です。ぜひご参加ください。

日時： 2024年10月5日（土） 9時00分～12時00分 *開場 8:30

場所： 昭和女子大学 8号館 [旧80年館] 5階5S04室
(東京都世田谷区太子堂1-7-57)

【プログラム】 ※各講演の題目等は変更になる場合があります。

開会挨拶 齋藤雪彦（日本建築学会農村計画委員会委員長／千葉大学）
キム・ハクレ（韓国農村建築学会会長）

研究発表・話題提供

- | | |
|----------------------------|--------------|
| 1. 都市農業と体験農園の現在地 | 齋藤雪彦（前掲） |
| 2. 市街地近郊の農村体験・マウル活性化の取り組み | 韓国研究者 |
| 3. 杉並区農福連携農園「すぎのこ農園」の取り組み | 青木郁子（JA東京中央） |
| 4. 農村地域の持続と公共建築（地域づくり）の可能性 | 韓国研究者 |

討論 ※一部通訳を介して、日本語・韓国語にて討論を行います。

日本側参加費 : 一般(会員) 2,000円、一般(会員外)2,420円、学生(会員) 1,000円、
学生(会員外)1,100円 ※どなたでも参加できます。

定員／申込方法 : 100名（申込み先着順）／クレジット決済によるWeb事前申込み

申込みURL／締切 : <https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=695622> / 2024年9月29日（日）

参加申込の問合せ : 日本建築学会事務局 伏見 Tel. 03-3456-2057（平日 9:15～17:30）

内容・当日の問合せ : 日本建築学会農村計画委員会アジア国際農村フォーラムWG 主査 後藤
rgoto@cc.saga-u.ac.jp *を@にかえて送信してください。